

海軍公報

(部内限)第三千三百十九號

海軍大臣官房

昭和十四年九月二十三日(土)

○令 達

官房機密第五八九九號

初任下士官特別教育實施規程(左) 修正ス

昭和十四年九月二十三日

海 軍 大 臣

内令提
要登載

第一條 鎮守府司令長官及要港部司令官ハ其ノ部下初任下士官(飛行豫科練習生教程卒業者ヲ除ク)ニ對シ本規程ニ依リ特別教育ヲ實施スベシ本教育ハ鎮守府ニ在リテハ海兵團、要港部ニ在リテハ防備隊ニ於テ毎年概ネ五月中旬及十一月中旬之ヲ開始シ其ノ期間ヲ約一月半トス

第三條 本教育ノ實施ニ當リテハ精神教育ヲ以テ基調トシ其ノ他ノ教育ハ之ト密接ナル關聯ヲ保持シ特ニ堅確旺盛ナル軍人精神ノ鍊成竝ニ部下統御指導ニ關スル基礎的素養ノ附與ニ努ムルヲ要ス

第十一條 艦隊司令長官及海軍大臣ニ隸スル學校長ハ部下ノ初任下士官ヲシテ最寄鎮守府又ハ要港部ノ本

教育ニ參加セシムベシ但シ任務行動等ノ爲參加不能ナルモノ竝ニ本教育ノ一部未了ノモノニ對シテハ當該所轄長ヲシテ單獨又ハ聯合シテ本教育ヲ實施又ハ終了セシムルモノトス

第八條及第九條ノ規定ハ前項但書ノ場合ニ付之ヲ準用ス

第十二條 削除
別表ヲ別表ノ如ク改ム

(別紙一葉添)

内令提要卷二、一四ノ一頁參照

○通 牒

海人機密第一號ノ二二二

昭和十四年九月二十三日

海軍省人事局長

關係各廳長殿

二年現役技術科士官志願者所見表等ニ

海軍公報(部内限)第三千三百十九號

昭和十四年九月二十三日

一一〇一

關スル件申進

官房第四八〇五號ニ依ル二年現役技術科士官志願者ノ所見表調製等ニ關シ左記ノ通定メラレ候條御了知相成度

記

一、所轄長ハ口頭試問終了者ニ就キ別紙様式ニ依ル所見表ヲ調製シ第二項ニ依ル口頭試問成績表ト共ニ之ヲ本年十月二十五日迄ニ海軍省人事局長ニ送付スルモノトス

二、口頭試問試験委員ハ口頭試験終了後口頭試験成績表ヲ所轄長ニ提出スルモノトス

三、所見表ノ記註ハ左ノ各號ニ依ル
(一) 選抜順序ハ左記ノ通區分シ一連ノ番號ヲ附スルモノトス

艦本系ハ艦政本部ノ部別ニ分ツ

航本系ハ發動機、機體（風洞水槽ヲ含ム）、兵器

（發着兵器ヲ含ム）、材料ニ分ツ

右以外ハ勤務廳毎ニ一連ノ番號ヲ附ス

(二) 年齡ハ昭和十四年十二月一日ニ於ケルモノトス
(三) 經歷ノ欄ニハ海軍入業年月日ヲモ記註スルモノトス

(四) 試験成績中試問ニ對スル成績ノ欄ニハ「最適」「適」「稍適」「不適」ニ區分シテ記註シ尙參考事項アル場合ハ之ヲ附記スルモノトス

(五) 試験成績中言語態度ノ欄竝ニ考課ノ欄ハ海軍考課表規則ニ準ジ記註スルモノトス

(六) 身體檢査成績欄ハ身體檢査試験委員ニ於テ記註捺印スルモノトス

（別表一葉添）

○雜款

○司令潜水艦一時變更

第六潜水隊司令ハ九月十三日、同十五日司令潜水艦ヲ一時呂號第五十八潜水艦ヨリ呂號第五十九潜水艦ニ變更、孰モ同日復歸セリ

○郵便物發送先

第一根據地隊司令部宛

佐世保郵便局氣付 飛鳥

自 今

○特務艦尻矢宛

九月三十日迄ニ到達見込ノモノハ 德 山
其ノ後ハ 横 須 賀

昭和十四年九月二十三日公報（部内限）別紙

一〇五

0326

昭和 年 月 日 所轄長 職官 氏 名 ⑧	績成査検體身	績成驗試		歴 經		概 狀 家 要 況 庭			地 驗 受	
			試験 成績 対		年 月 日				序順拔選	
			言語 態度						別 門 専	
	課 考				官 (職)	成 績	卒業 年次	出身 學校	別部轄所	
	見 所 般 一		性						級俸 (職) 現官	
				行	擔 任 業 務				名 氏	
				技						齡 年
				能						受 験 年 月 日
	勤									
	務									

(別紙)
(用紙適宜)
所 見 表
(昭和十四年九月二十三日公報(部内限)別紙)

0827

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○九月二十三日午前十時調

【横須賀】

春日▲、神威▲、三隈、鈴谷、木曾、愛宕、足柄、高雄▲、五十鈴、陸奥、山城、迅鯨

▷磐手、八雲、長鯨

島風▲、灘風▲、戸朝雲、夏雲▲、峯雲▲

山雲、戸曉、狹霧▲、澤風

伊一二三▲、伊一二四▲

富士▲、膠州、洲崎▲、鳴戸▲、知床

(高崎)▲、(翔鶴)▲、(伊一七)▲

【長浦】▷沖島

戸春風、旗風、汐風、戸響、電、雷、帆風

呂五五、呂五六、呂五四、戸呂五八、

呂五七、呂五九、伊六

【石川島】▷沼風、野風

【横濱】▷(香取)

浦賀▲、北上▲

漣

(不知火)▲、(早潮)▲

【大湊】葵▲

【函館】▷萩

【吳】矢矧、淺間、淀、比叡▲、神通▲、日向▲、熊野▲

鳳翔、最上、嚴島▲、白鷹▲、加古、大井、

▷阿武隈、由良、鬼怒

夕顔、吳竹、若竹、早苗、薄、藤、葛、刈萱、敷波、磯波、戸文月

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、

呂二八▲、伊五一、伊六七▲、戸伊一二一、

伊一二二、戸伊七〇、戸伊六二、伊六四、

伊六一、伊六九、呂三三

雁

攝津▲、明石▲、隠戸

(伊九)▲、(伊一五)▲、(伊一六)▲

【大阪】天龍▲

戸彌生▲、卯月▲、如月▲、夕月

(黒潮)▲、(夏潮)▲

【神戸】伊六八▲、戸伊五七▲、伊五六▲、伊五八▲

(初風)▲、(伊二〇)▲、(伊二二)▲、(伊一九)▲

【相生】神風、波風▲、朝顔▲、戸芙蓉▲

(初鷹)▲

【玉】呂六二▲

【因ノ島】水無月▲、皐月▲

【江田内】平戸▲

【徳山】戸長門、伊勢、扶桑、▷川内

戸村雨、春雨、夕立、五月雨、戸若葉、初春、

子日、初霜、戸江風、涼風、山風、海風

【三田尻】▷霧島、金剛

【三津濱】古鷹

【宇和島】▷大鯨

海軍公報(部内限) 第三千三百十九號

昭和十四年九月二十三日

一一〇三

【別府】

伊五、伊四、伊五五、伊五三、伊五四、
伊六〇、伊五九、伊七
府 鳥海、摩耶、利根、筑摩、那珂、劍埼、
赤城

隴、潮、曙、天霧、朝霧、夕霧、初雪、
白雪、吹雪、追風、疾風

伊七五、伊七四、伊七三、伊七二、
伊七一、伊三四、伊八

問宮

【佐伯】

蒼龍、龍驤
東雲、叢雲、薄雲

【舞鶴】

吾妻、多摩
白雲

伊五二

(陽炎) (親潮)

【佐世保】

常磐、那智、青葉、衣笠、加賀、能登呂、
龍田、千歳、榛名、飛龍、八重山、名取

梨、竹、樵、桃、柳、檜、葦、蓬、菱、
草、柿、楡、長月、大潮、荒潮、朝潮、
満潮、菊月、三日月、睦月、望月

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、
呂六一、呂六六、呂六五、呂六七、
伊六六、伊六五、呂六三、呂六四、
呂六八

真鶴、千鳥、友鶴、初雁

【長崎】

掃一、掃二
敷島、鶴見、佐多、早瀬、室戸
(雪風) (磯風) (伊一八)

【雄基】

浦波
出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、
熱海、二見、伏見、瑞穂、球磨、妙高、
長良、嵯峨、千代田、勝力、夕張、駒橋、
栗、根、連、夕風、朝風、松風、朝風、
白露、有明、夕暮、時雨、秋風、羽風、
太刀風、夕風、綾波、峯風、沖風

伊六三

隼、鶴、鵠、鷺、鳩、雉

掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、
掃一五、掃一三、掃一四、掃一六、
掃一七、掃一八、掃一〇、掃八、掃九、
掃七

朝日、大泊、野島

【航海中】

石廊 (十五日吳發「ロスアンゼルス」)

襟裳 (二十日「オハ」發「徳山」)

尻矢 (二十二日「オハ」發「徳山」)

矢風 (二十二日豊後水道發「吳」)

伊一、伊二、伊三 (二十二日佐伯發「吳」)

霞、霞 (二十三日白杵灣發「吳」)

(限 内 部)

0829

海軍公報(部内限)號外

昭和十四年九月二十三日(土)

海軍大臣官房

○ 令 達

官房第四二六〇號ノ三

提 嬰

昭和十四年度新造雜役船ノ公稱番號、船種、所屬等ヲ左ノ通定ム

昭和十四年九月二十二日

海 軍 大 臣

公稱番號	船 種	所 屬	定 數 別	製 造 訓 令 番 號	竣工豫定期日
第二〇九號	カッタ (九米)	千歳海軍航空隊 (假稱)	同	官房機密第四一七〇號大湊要港部司令	昭和十四年 八月末日
第二〇三號	同	同	同	同	同
第二〇三號	同	美幌海軍航空隊 (假稱)	同	同	同十五年 六月末日
第二〇三號	同	同	同	同	同
第二〇三號	同	海軍兵學校	同	官房機密第四一七一號吳鎮守府司令長 官ニ訓令	同十四年 十月末日
第二〇四號	同 (同)	同	同	同	同

海軍公報(部内限)號外

0830

海軍公報（部内限）號外

第〇二五號	同	（同）	宇佐海軍航空隊 （假稱）	同	同	九同 月末日
第〇二六號	同	（同）	同	同	同	同
第〇二七號	同	（同）	吳海兵團	同	同	同 十二月末日
第〇二八號	同	（同）	大分海軍航空隊	同	同	同
第〇二九號	同	（同）	同	同	同	同
第〇三〇號	同	（同）	同	同	同	同
第〇三一號	同	（同）	同	同	同	同
第〇三二號	同	（同）	岩國海軍航空隊 （假稱）	同	同	九同 月末日
第〇三三號	同	（同）	同	同	同	同
第〇三四號	同	（同）	同	同	同	同
第〇三五號	同	（同）	同	同	同	同
第〇三六號	同	（解型）（三・五米）	同	同	同	同
第〇三七號	同	（同）	同	同	同	同
第〇三八號	同	（同）	同	同	同	同
第〇三九號	同	（同）	同	同	同	同

二

第三六三號	內火傳馬船 (十米)	千歲海軍航空隊 (假稱)	同	官房機密第四一七〇號大湊要港部司令官ニ訓令	同	八月末日
第三六二號	傳馬船 (十米)	美幌海軍航空隊 (假稱)	同	同	同	同十五年 六月末日
第三六四號	同	大分海軍航空隊	同	官房機密第四一七一號吳鎮守府司令官ニ訓令	同	同十四年 十二月末日
第三六五號	同	宇佐海軍航空隊 (假稱)	同	同	同	同 八月末日
第三六六號	同	千歲海軍航空隊 (假稱)	同	官房機密第四一七〇號大湊要港部司令官ニ訓令	同	同 六月末日
第三六七號	同	美幌海軍航空隊 (假稱)	同	同	同	同十五年 六月末日
第三七八號	同	吳海兵團	同	官房機密第四一七一號吳鎮守府司令官官ニ訓令	同	同十四年 十二月末日
第三七九號	同	大分海軍航空隊	同	同	同	同 八月末日
第三八〇號	同	宇佐海軍航空隊 (假稱)	同	同	同	同 八月末日
第三八一號	同	岩國海軍航空隊 (假稱)	同	同	同	同 八月末日
第三八二號	運貨船 (シヤラン型) (百噸積)	吳海軍軍需部	同	同	同	同十五年 三月十五日
第三八三號	水船 (百五十噸積)	吳海軍港務部	同	同	同	同 五月末日
第三八四號	橋船 (長十二米巾四米)	岩國海軍航空隊 (假稱)	定數補充	同	同	同十四年 八月末日

0832

海軍公報（部内限）號外

四

○正誤



八月十八日部内限號外令達官房第四二七〇號ノ二公稱第三七四號中
ノ誤

「吳海軍建築部
（光海軍工務用
工事用）」

ハ「佐世保海軍建築部
（高雄工務用）」

0833

(限 内)

海軍公報

(部内限)第三千三百二十號

昭和十四年九月二十五日(月)

海軍大臣官房

○令 達

内令提

機密第五九四一號要登載

各科初任准士官講習規程左ノ通改正ス
昭和十四年九月二十五日
海軍大臣

各科初任准士官講習規程

第一條 鎮守府司令長官ハ本規程ニ依リ在籍各科初任准士官(選修學生教程修了者ヲ除ク)ノ講習ヲ實施スベシ

本講習ハ各所屬海兵團ニ於テ毎年十一月初旬之ヲ開始スルモノトス

第二條 本講習ハ各科初任准士官ヲシテ其ノ地位ト職責トヲ自覺シ品性ノ陶冶ト共ニ主トシテ艦船部隊ニ於ケル特務士官准士官ノ勤務ニ必要ナル基礎的素養ヲ確得セシメ且尉官代務トシテノ實務上ノ一般概念ヲ會得セシムルヲ以テ目的トス

第三條 講習ハ精神教育ヲ以テ基調トシ諸般ノ訓練ハ勿論技能教育ノ間ニ於テモ斷エズ之ト密接ナル連繫ヲ保持シ特ニ堅確旺盛ナル軍人精神ノ鍊成及部下統御ニ關スル適確ナル識能ノ附與ニ努ムルヲ要ス

第四條 海兵團長ハ鎮守府司令長官ノ認可ヲ受ケ講習員(軍樂科、看護科、主計科ヲ除ク)ヲ艦船ニ派遣修業セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ派遣セラレタル講習員ハ其ノ修業ニ關シ當該團長ノ指揮ヲ受ク

第五條 本講習ハ左表ニ依リ之ヲ實施スルモノトス

科 別	教育期間	教育ノ區分並ニ其ノ期間
兵 科	(一) 海兵團 ニ於ケル 一般教育	(二) 艦内ニ於ケル 分隊士勤務ノ 實習
航空科	約 六 月	約 五 月
整備科	約 五 月	約 一 月

海軍公報(部内限)第三千三百二十號 昭和十四年九月二十五日

一一〇五

機關科	工作科	軍樂科	看護科	主計科
		約 四月	約 四月	約 四月半
		約 四月	約 四月	約 四月半

第六條 教程標準別表ノ通定ム

第七條 海兵團長ハ講習實施ニ關スル細則ヲ定メ鎮守府司令長官ノ認可ヲ經テ之ヲ實施スベシ但シ鎮守府司令長官ハ之ヲ認可スルニ先テ海軍大臣ノ承認ヲ經ルヲ要ス

第八條 講習員ハ海兵團内ニ起臥セシム

第九條 海兵團長ハ講習ノ終期ニ於テ講習ノ經過成績及進歩ニ關スル事項ヲ審査シ之ガ記録ヲ整理保存スベシ

第十條 海兵團長ハ講習終了後實施經過ノ概要及成績ヲ鎮守府司令長官ニ報告シ鎮守府司令長官ハ之ニ意見ヲ附シ海軍大臣ニ提出スベシ

第十一條 十二月二十八日ヨリ翌年一月九日迄ヲ冬季休業トス

第十二條 鎮守府司令長官ハ任務其ノ他特別ノ事情ニ因リ本講習ニ參加スルコト能ハザル初任准士官ニ對シテハ所屬長官ト協議ノ上當該所轄長ヲシテ單獨又ハ聯合シテハ第二條、第三條、第五條、第六條及第十條ノ規定ニ準ジ講習ヲ實施セシムルコトヲ得

（別紙添）

（内令提要卷二、一〇五頁參照）

○ 通 牒

官房機密第五九四二號

昭和十四年九月二十五日

海 軍 次 官

横須賀 鎮守府司令長官殿

岩國海軍航空隊ニ於テ實施スル操縱練習生教育ニ關スル件申進

本年十二月一日岩國海軍航空隊ハ練習航空隊ニ指定セラレ操縱練習生ノ臨時養成ヲ實施セラルル豫定ニ有之候處之ガ實施要領ニ關シテハ左記ノ外海軍練習航空隊規則ニ準據スルコトニ取計相成度

記

- 一、教務規程ハ第十一聯合航空隊司令官ノ定ムル教務規程ニ準ジ之ヲ定ム
- 二、當該練習生ハ海軍練習航空隊規則第九條ノ三ノ規定ニ拘ハラズ直接岩國海軍航空隊ニ入隊セシム
- 三、岩國海軍航空隊ニ於テ教育スベキ操縱練習生ノ期別ハ横須賀鎮守府司令長官之ヲ定ム
- 四、海軍練習航空隊規則第二十三條第八項ニ依ル所見表、採用人名及所屬ノ通知先ヲ岩國海軍航空隊司令(岩國海軍航空隊設立準備委員長) トス

○ 辭 令

海軍軍事普及部委員ヲ命ス(海軍省)
海軍中佐 大前 敏一

第一課勤務ヲ命ス(海軍省軍務局)
海軍中佐 三 浦 速雄(艦本)

海軍少佐 山 田 鐵夫(朝雲)

同 瀬戸 喜久太(横鎮)

(各通) 海軍大尉 名 島 清(朝雲)

海軍機關中佐 高 岡 羊吾(横鎮)

同 海軍造船少佐 齋藤貫二郎(横廠)

海軍中佐 三 浦 速雄(艦本)

海軍少佐 瀬戸 喜久太(横鎮)

(各通) 同 有 馬 時吉(山雲)

海軍機關中佐 高 岡 羊吾(横鎮)

同 松 木 正彦(艦本)

海軍造船少佐 齋藤貫二郎(横廠)

驅逐艦山雲審議委員ヲ命ス

海軍大佐 入船直三郎(艦本)

海軍中佐 篠田太郎(舞臺)

同 磯 田 惠(艦本)

同 三 浦 速雄(同)

同 大 江 覽治(同)

同 山 本 岩多(陽炎)

同 曾 田 隆宗(艦本)

同 田 中 正道(舞臺)

同 長 澤 浩(軍令)

(各通) 海軍少佐 山 田 盛重(軍務)

海軍大尉 淺 井 秋生(陽炎)

驅逐艦陽炎審議委員ヲ命ス

(各通)

同 小泉四郎(同)

同 森本義久(同)

同 北川政(艦本)

同 今田乾吉(軍務)

同 松木正彦(艦本)

同 水越正作(舞要)

同 堂免敬造(陽炎)

同 山口宗夫(艦本)

同 中村萬次郎(同)

海軍大佐 入船直三郎(艦本)

同 稻垣義穂(初應)

同 井上左馬太(艦本監)

同 香春克巳(艦本)

同 佐々木靜吾(同)

同 井上憲一(軍令)

同 山田盛重(軍務)

同 高橋仁四郎(初應)

同 山川良彦(同)

海軍機關大佐 島田藤治郎(艦本)

海軍機關中佐 赤松嘉一郎(艦本監)

同 小山清行(艦本)

海軍機關少佐 下地寛辰(初應)

海軍造船中佐 稻川精一(艦本)

海軍技師 上羽助太郎(艦本監)

軍艦初應審議委員ヲ命ス(以上九十四海軍艦政本部)

○雜款

○司令驅逐艦一時變更

第八驅逐隊司令ハ九月十四日司令驅逐艦ヲ一時天霧ヨリ朝霧ニ變更、同日復歸セリ

第十六驅逐隊司令ハ九月二十一日司令驅逐艦ヲ一時芙蓉ヨリ刈萱ニ變更セリ

○郵便物發送先
豐國丸宛

自今

追テ當隊司令、機關長、軍醫長、主計長宛書類ニシテ同艦ニ關係アルモノハ寫ヲ直送相成度

(第三砲艦隊)

第二十二驅逐隊、驅逐艦文月、水無月、皐月宛

自今

廣島縣御調郡土生町

大阪鐵工所因島工場

0837

驅逐艦長月宛

自今

佐世保

第二十二驅逐隊司令宛ノ書類ニシテ驅逐艦長月ニモ關係アルモノハ寫ヲ直接同艦宛送付相成度
追テ隊機關長宛ノモノハ水無月ヘ軍醫長宛ノモノハ長月ヘ主計長宛ノモノハ文月宛送付相成度
(第二十二驅逐隊)

○事務所移轉

上海駐在海軍主計科士官事務所ハ九月二十三日左記ニ

○交通艦

移轉セリ

記

上海東百老匯路八八〇號
(註) 舊招商局北棧構内

○殘務整理

特設砲艦京畿丸殘務整理ハ會寧丸ニ於テ行フ

(第三砲艦隊)

期日	出	發	地	出港時刻	到	着	地	到着時刻	交通艦	記	事
一〇、二	宿		毛	一〇〇〇	德		山	一八〇〇			戰技委員(附)視察見學者川
一〇、三	德		山	〇九〇〇	宿		毛	一七〇〇	$\frac{d \times 1}{18d}$		

(聯合艦隊)

海軍公報(部内限) 第三千三百二十號 昭和十四年九月二十五日

一一〇九

○ 艦船所在

指定ヲ要セズ

○九月二十五日午前十時調

【横須賀】

春日▲、神威▲、三隈、木曾、愛宕、足柄、高雄▲、五十鈴、陸奥、山城、▽磐手、八雲、長鯨

島風▲、灘風▲、▽朝雲、夏雲▲、峯雲▲

山雲、▽曉、狹霧▲、澤風

伊一二三▲、伊一二四▲

富士▲、膠州、洲崎▲、鳴戸▲、知床

(高崎)▲、(翔鶴)▲、(伊一七)▲

【長浦】

▽沖島

▽春風、旗風、汐風、▽櫻、電、雷、帆風

呂五五、呂五六、呂五四、▽呂五八、呂五七、呂五九、伊六

【石川島】

▽沼風、野風

【横濱】

(香取)

【浦賀】

北上▲

(不知火)▲、(早潮)▲

【大湊】

葵▲

【函館】

▽菊▲、萩▲

【吳】

矢矧、淺間、淀、比叡▲、神通▲、日向▲、熊野▲、鳳翔、最上、嚴島▲、白鷹▲、加古、古鷹、

▽阿武隈、由良、鬼怒

夕顔、吳竹、若竹、早苗、薄、藤、葛、刈萱、敷波、磯波▲、▽霞、霞

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、伊五一、伊六七▲、▽伊一二二、伊一二一、▽伊七〇、▽伊六二、伊六四、伊六一、伊六九、▽伊一、伊二、伊三

雁

攝津▲、明石▲、隱戸、室戸

(伊九)▲、(伊一五)▲、(伊一六)▲

天龍▲

▽彌生▲、卯月▲、如月▲、夕月

【大阪】

(黒潮)▲、(夏潮)▲

【神戸】

伊六八▲、▽伊五七▲、伊五六▲、伊五八▲

(初風)▲、(伊二〇)▲、(伊二二)▲、(伊一九)▲

【相生】

神風、波風▲、朝顔▲、▽芙蓉▲

(初應)▲

【玉】

呂六二▲

【因ノ島】

水無月▲、皁月▲

【多度津】

大井

【江田内】

平戸▲

【徳山】

▽長門、伊勢、扶桑、▽川内

▽村雨、春雨、夕立、五月雨、▽若葉、初春、子日、初霜、▽江風、涼風、山風、海風

【三田尻】

▽霧島、金剛

【宇和島】△大鯨

△伊五、伊四、△伊五五、伊五三、伊五四、
△伊六〇、伊五九、伊七

【豊後水道】矢風

【別府】△島海、摩耶、△利根、筑摩、△那珂、△劍埼、
△赤城

△龍、潮、曙、△天霧、朝霧、夕霧、△初雪、
白雪、吹雪、△追風、疾風

△伊七五、伊七四、△伊七三、伊七二、
伊七一、△呂三四、呂三三、伊八

【佐伯】△蒼龍、龍驤

△東雲、叢雲、薄雲
△呂六三、呂六八

【舞鶴】吾妻、多摩

△白雲
伊五二

【佐世保】

（陽炎）△（親潮）
常磐、那智、青葉、衣笠、加賀、能登呂、
龍田、千歳、榛名、飛龍、名取

梨、竹、樞、桃、柳、檜、蕨、蓬、菱、
△草、△桡、△楡、△長月、△大潮、△荒潮、
△朝潮、△滿潮、△菊月、△三月月、△睦月、△望月

△呂三〇、△呂三一、△呂三二、△呂六〇、
△呂六一、△呂六六、△呂六五、△呂六七、
△伊六六、△伊六五、△呂六四

△真鶴、△千鳥、△友鶴、△初雁
△掃一、△掃二

敷島、△鶴見、△佐多、△早鞆、△野島
（雪風）△（磯風）△（伊一八）△

【長崎】羽黑

【雄基】浦波
【作業地】△出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、
熱海、二見、伏見、△瑞穂、球磨、△妙高、
△長良、△嵯峨、△千代田、△勝力、△夕張、△駒橋、
△八重山

栗、梅、蓮、△夕風、朝風、△松風、朝風、
△白露、有明、夕霖、時雨、△秋風、羽風、
△太刀風、夕風、△綾波、峯風、沖風

伊六三
△隼、△鶴、△鵠、△鷺、△鳩、△雉

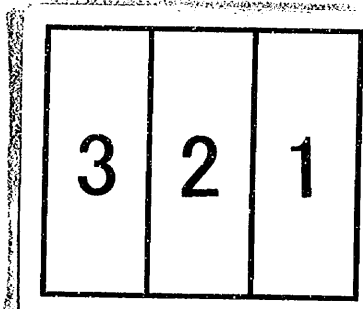
△掃六、△掃一、△掃二、△掃三、△掃四、△掃五、
△掃一五、△掃一三、△掃一四、△掃一六、
△掃一七、△掃一八、△掃一〇、△掃八、△掃九、
△掃七

朝日、大泊

【航海中】

石廊（十五日吳發—羅府—）
襟裳（二十日「オハ」發—徳山—）
尻矢（二十二日「オハ」發—徳山—）
鈴谷（二十五日横須賀發—神津島—）
文月（二十五日吳發—因ノ島—）

分割撮影ターゲット

分割した 部 分 の 撮 影 順 序	
分割撮影 した理由	A 3 版以上のため
文 書 等 名	初任准士官講習教程標準
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

(別表)

初任准士官講習教程標準
(昭和十四年九月二十五日公報(部内限)別紙)

0842 0841 0840

科目		科目		科目		科目	
項目	目	項目	目	項目	目	項目	目
一、皇國ノ國體、皇軍ノ特質	一	一、帝國海軍制度組織(官衛、部隊、武官官階)	一	一、兵備品取扱大要(兵備品會計規程及兵器圖書)	二	一、日本歴史(皇道精神ノ發達梗概)	一
二、軍人精神(勅諭衍義)	二	二、艦船職員服務規程	二	二、帝國海軍史梗概	二	二、世界史(現存主要國ノ發展梗概)	二
三、准士官タルノ地位職責	三	三、分隊長、分隊士ノ職責	三	三、世界史(現存主要國ノ發展梗概)	三	三、世界地理(世界現狀大要)	三
四、軍紀風紀	四	四、下士官、兵ノ任用進級其ノ他身上取扱一般	四	四、陸戰立止陸戰要務(中隊以下ノ陸戰隊ニ關スル事項)	四	四、英語(執務上必要ナルローマ字、英語初步)	四
五、武人ノ德操	五	五、軍隊教育規則、教育法ノ要旨	五	五、短艇指揮及艇員心得關係法規	五	五、統計學ノ概念	五
六、國民道德	六	六、部下統御ノ要旨、下士官兵隊ノ要旨	六	六、甲板士官執務ニ關スル規程、帳簿整理法	六	六、國文法	六
		七、海軍刑法、海軍懲罰令及海軍軍法會議法ノ要旨	七	七、各關係兵器ニ關スル模式教範ノ要旨	七	七、體操	七
		八、日課、週課、艦内號令詞	八	八、衛兵副司令執務ニ關スル規程、帳簿整理法	八	八、武技(銃劍術、劍道、柔道)	八
		九、陸上教練(各個教練、敬禮)	九	九、艦船彈火藥庫鎖鑰並ニ取締規程	九	九、體技(弓術)	九
		一〇、部隊指揮掌握ニ關スル事項(小隊教練)	一〇	一〇、當直勤務ニ關スル事項	一〇		
		一一、短艇(撓艇)操法、短艇帆走法	一一	一一、氣象觀測通報規程	一一		
		一二、最近艦船兵器機關ノ進歩ノ現狀	一二	一二、航泊日誌、軍艦彈火藥庫日誌取扱記註法	一二		
		一三、最近潛水艦、航空機ノ進歩ノ現狀	一三	一三、氣象概念、天氣豫察法	一三		
		一四、船體構造強度及艦内諸裝置ノ大要(造船基礎事項)	一四	一四、水路圖誌、航海兵器概要、航海術概念	一四		
		一五、船體保存整備一般(教範ノ要旨)	一五	一五、通信法(電信、信號)通信兵器概要、暗號書通信書信號書取扱法並ニ關係諸規程	一五		
		一六、艦内應急ノ要旨	一六				
		一七、艦内編制令	一七				
		一八、戰闘訓練規則	一八				
		一九、戰闘部署	一九				
		二〇、海軍戰術、戰務概要	二〇				
		二一、機密圖書取扱規則、機密圖書經理規程	二一				
		二二、機密物件取扱規則、艦船要目公表範圍	二二				
		二三、軍機保護法	二三				
		二四、要塞地帶法	二四				
		二五、軍艦外務令	二五				
		二六、公文書書式、各廳處務通則、海軍用語	二六				
		二七、海軍服裝令、禮式令、旗章令、禮砲令、葬喪令	二七				
		二八、部内見學(航空隊、防備隊、刑務所)	二八				
		二九、防衛訓練	二九				
		三〇、傷病應急處置	三〇				

普 通 學 務			體 育			二、兵科、航空科、整備科		
科目	項目	標準時數	科目	項目	標準時數	科目	項目	標準時數
	一、日本歴史（皇道精神ノ發達梗概） 二、帝國海權史梗概 三、世界史（現存主要國ノ發展梗概） 四、世界地理（世界現狀大要） 五、英語（執務上必要ナルローマ字、英語初步） 六、統計學ノ概念 七、國文法 八、作文	一〇 六 二 六 六 六 六 六		一、體操 二、武技（銃劍術、劍道、柔道） 三、體技（弓術）	適時 別科（四） 別科（五）		一、兵備品取扱大要（兵備品會計規程及兵器圖書） 二、船體ノ修理改造手續（艦船造修規則） 三、兵器ノ試驗檢査手續（兵器造修規則） 四、陸戰並ニ陸戰要務（中隊以下ノ陸戰隊ニ關スル事項） 五、短艇指揮及艇員心得關係法規 六、甲板士官執務ニ關スル規程、帳簿整理法 七、船體兵器保存整理法（船體保存整備教範） 八、各關係兵器ニ關スル模式教範ノ要旨 九、衛兵副司令執務ニ關スル規程、帳簿整理法 一〇、艦船彈火藥庫鎖鑰並ニ取締規程 一、當直勤務ニ關スル事項 二、氣象觀測通報規程 三、航泊日誌、軍艦彈火藥庫日誌取扱記註法 四、見張法 五、氣象概念、天氣豫察法 六、水路圖誌、航海兵器概念、航海術概念 七、通信法（電信、信號）通信兵器概念、暗號書通信信號書取扱法並ニ關係諸規程 八、艦内ニ於ケル一般運用作業（重量物取扱法、應急法）大要 九、海上衝突豫防法 一〇、發光信號 一一、手旗信號 一二、旗號信號	二四 六 九 九 九 九 二 二 二 三 三 六 六 六 六 三 二 二 三 九 六 二 二 二 二 一 八 九 六 六 二 二 二 二 三

科目	項目	標準時數
一、關係諸規程	二、艦内ニ於ケル一般運用作業（重量物取扱法、應急法）大要	一八
三、海上衝突豫防法	四、發光信號	六
五、手旗信號	六、旗旋信號	六
七、總計		（一七八） （九〇五）

三、機關科、工作科

科目	項目	標準時數
一、兵備品機關材料取扱大要（兵備品會計規程及兵器、艦營需品燃料ニ關スル經理規程）	二、船體機關ノ修理改造手續（艦船造修規則）	三〇
三、兵器機關ノ試験検査手續（兵器造修規則其ノ他）	四、機關ノ整理操縦ニ關スル事項	二二
五、機關ノ工作ニ關スル操式、教範ノ要旨	六、機關運轉要務、工作要務ノ摘要	二二
七、艦内工作（金屬木具）機械及工作材料	八、潜水器使用法及潜水作業大要	二二
九、機關效能表取扱記註法	一〇、機關月報、來歷簿、工作月報整理法	二六
一、陸戰要務（必要事項ノミ）	二、機關科當直勤務ニ關スル事項	二六
三、機關日誌取扱記註法	四、艦内ニ於ケル運用作業（重量物取扱法、應急法）大要	二九
五、船體機關保存整備法	六、手旗信號	二
七、手先信號		別科（六） 別科（三）
總計		（一七八） （九〇五）

四、軍樂科

科目	項目	標準時數
一、兵備品取扱大要（兵備品會計規程及艦營需品ニ關スル經理規程）	二、奏樂指揮法（儀制ヲ含ム）	一〇
三、拳銃射擊法	四、操式ノ要旨	二七
五、曲目編成		三六
總計		（三九四） （七二）

五、看護科

科目	項目	標準時數
一、兵備品取扱大要（兵備品會計規程及治療品ニ關スル經理規程）	二、醫務諸法規	二二
三、選兵法	四、傳染病豫防法並ニ艦船消毒法	一〇
五、一般衛生及衛生検査法、防毒法大要	六、理學の治療及手術介補ノ大要	一八
七、病的検査法ノ大要	八、齒科應急治療法	二〇
九、拳銃射擊法	一〇、陸戰要務（必要事項ノミ）	一六
二、手旗信號		別科（六）
總計		（一七八） （四五八）

六、主計科

科目	項目	標準時數
一、兵備品取扱大要（主トシテ被服、糧食、艦營需品ニ關スル經理規程）	二、庶務ニ關スル諸規程（庶務主任須知事項、級位級勳、任）	二四
三、金錢會計ニ關スル事項（實務ニ關連スル法制經濟ノ基礎知識十五回ヲ含ム）	四、物品會計ニ關スル事項	一五
五、酒保、嗜好食、各食卓ニ關スル事項	六、厨業ニ關スル事項	一〇
七、拳銃射擊法	八、陸戰要務（必要事項ノミ）	二六
九、贈號書取扱法	一〇、手旗信號	二〇
總計		（四五八） （七二）

海軍公報

(部内限) 第三千三百二十一號

昭和十四年九月二十六日(火)

海軍大臣官房

○ 辭 令

海軍大佐 矢野 志加三
海軍中佐 石 原 聿
海軍中佐 浦 孝 一
同 鬼 東 鐵 夫
同 角 田 光 揚
同 佐 藤 述
海軍少佐 中 村 健 夫
同 野 間 徹
海軍機關中佐 磯 部 太 郎
昭和十四年度水産講習所遠洋漁業科教練査閱官附ヲ
命ス
通信書記 奥 新太郎
第七海軍軍用郵便所員ヲ命ス
事務員 橋 本 清
同 馬 場 虎 熊
同 町 田 重 利

(各通)

集配員 平野 勝次
同 古 田 一
同 古 場 佐七
同 山 田 勘 一
第七海軍軍用郵便所員ヲ命ス
但シ身分ノ取扱ハ雇員トス(以上九月二十五日海軍省)

○ 雜 款

○將旗移揚
第四根據地隊司令官ハ九月二十四日將旗ヲ海口司令部
ヨリ第七號掃海艇ニ移揚セリ
○司令驅逐艦復歸
第二十三驅逐隊司令ハ九月二十一日司令驅逐艦ヲ菊月
ニ復歸セリ
○郵便物發送先變更
驅逐艦秋風、夕風宛
自 今
大湊郵便局氣付

海軍公報(部内限) 第三千三百二十一號

昭和十四年九月二十六日

一一三

海軍公報（部内限）第三千三百二十一號

昭和十四年九月二十六日

一一四

○殘務整理事務所撤去豫定

一、左記殘務整理事務所ハ九月三十日撤去ノ豫定

第六艦隊司令部 殘務整理事務所

第十三戰隊司令部 同

第三水雷戰隊司令部 同

第三潜水戰隊司令部 同

第十防備隊 同

第十一通信隊 同

二、整理文書、廳印及職印ノ保管廳

（横須賀鎮守府内）

（横須賀防備戰隊司令部内）

（海軍水雷學校内）

（海軍潜水學校内）

（吳防備隊内）

（横須賀海軍通信隊内）

部 隊 名	文 書 保 管 廳	廳 印 職 印 保 管 廳
第六艦隊司令部	軍 令 部	横須賀經理部
第十三戰隊司令部	横須賀防備戰隊司令部	同 右（但シ職印ノミ）
第三水雷戰隊司令部	横須賀鎮守府	同 右
第三潜水戰隊司令部	海 軍 潜 水 學 校	吳經理部
第十防備隊	吳 防 備 隊	
第十一通信隊	南洋廳遞信課（施設關係ノミ）	調製セズ

（第六艦隊司令部）

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○九月二十六日午前十時調

【横須賀】

春日▲、神威▲、三隈、木曾、愛宕、足柄、高雄▲、五十鈴、陸奥、山城、▽磐手、八雲、長鯨、鈴谷

島風▲、灘風▲、▽朝雲、夏雲▲、峯雲▲

山雲、▽曉、狹霧▲、澤風

伊一二三▲、伊一二四▲

富士▲、膠州、洲崎▲、鳴戸▲、知床

(高崎)▲、(翔鶴)▲、(伊一七)▲

【長浦】▽沖島

▽春風、旗風、沙風、▽響、電、雷、帆風

呂五五、呂五六、呂五四、▽呂五八、呂五七、呂五九、伊六

【石川島】▽沼風、野風

【横濱】

迅鯨

(香取)▲、(鹿島)▲

【浦賀】

北上▲

(不知火)▲、(早潮)▲

【大湊】

葵▲

【函館】▽萩▲

【呉】矢矧、淺間、淀、比叡▲、神通▲、日向▲、熊野▲、鳳翔、最上、駿島▲、白鷹、加古、古鷹▲

夕顔、吳竹、若竹、早苗、薄、藤、葛、刈萱、敷波、磯波▲、▽靉、霞

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、呂二八▲、伊五一、伊六七▲、▽伊一二三、▽伊七〇

攝津▲、明石▲、隠戸、室戸

【大阪】天龍▲、(伊九)▲、(伊一五)▲、(伊一六)▲

▽彌生▲、卯月▲、如月▲、夕月

(黒潮)▲、(夏潮)▲

【神戸】伊六八▲、▽伊五七、伊五六▲、伊五八▲、(初風)▲、(伊二〇)▲、(伊二二)▲、(伊一九)▲

【相生】神風、波風▲、朝顔▲、▽芙蓉▲、(初鷹)▲

【玉】呂六二▲

【因ノ島】水無月▲、阜月▲、▽文月

【多度津】大井

【江田内】平戸▲

【安下庄】伊一二一

【宿毛】▽長門、伊勢、扶桑、▽霧島、金剛、▽阿武隈、由良、鬼怒、▽川内、▽大鯨、▽赤城

▽村雨、春雨、夕立、五月雨、▽若葉、初春、子日、初霜、▽江風、涼風、山風、海風、▽追風、疾風

【豊後水道】

矢風

【別府】

蒼龍、龍驤

【佐伯】

東雲、叢雲、薄雲

【島海、摩耶、利根、筑摩、那珂、劍埼】

白雲、吹雪

【伊七五、伊七四、伊七三、伊七二、伊七一、伊六三、伊六八】

白雲、吹雪

【伊六三、伊六八】

白雲、吹雪

【伊六三、伊六八】

白雲、吹雪

【伊六三、伊六八】

白雲、吹雪

【伊六三、伊六八】

白雲、吹雪

【伊六三、伊六八】

白雲、吹雪

【伊六三、伊六八】

白雲、吹雪

【伊六三、伊六八】

白雲、吹雪

【伊六三、伊六八】

白雲、吹雪

【伊六三、伊六八】

白雲、吹雪

【伊六三、伊六八】

白雲、吹雪

【伊六三、伊六八】

白雲、吹雪

【伊六三、伊六八】

白雲、吹雪

【伊六三、伊六八】

白雲、吹雪

【伊六三、伊六八】

白雲、吹雪

【伊六三、伊六八】

白雲、吹雪

【伊六三、伊六八】

白雲、吹雪

【伊六三、伊六八】

白雲、吹雪

【伊六三、伊六八】

白雲、吹雪

【伊六三、伊六八】

白雲、吹雪

【伊六三、伊六八】

白雲、吹雪

【伊六三、伊六八】

白雲、吹雪

【伊六三、伊六八】

白雲、吹雪

【伊六三、伊六八】

白雲、吹雪

【伊六三、伊六八】

白雲、吹雪

【伊六三、伊六八】

白雲、吹雪

【伊六三、伊六八】

白雲、吹雪

【伊六三、伊六八】

白雲、吹雪

【長崎】

敷島、鶴見、佐多、早瀬、野島

【雄基】

浦波

【作樂地】

山雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、伏見、口瑞穂、球磨、口妙高、長良、嵯峨、千代田、勝力、夕張、駒橋、八重山

【栗、梅、蓮、夕風、朝風、松風、朝風、白露、有明、夕暮、時雨、秋風、羽風、太刀風、夕風、綾波、峯風、沖風、伊六三】

【伊六三】

伊六三

【伊六三】

伊六三

【伊六三】

伊六三

【伊六三】

伊六三

【伊六三】

伊六三

【伊六三】

伊六三

【伊六三】

伊六三

【伊六三】

伊六三

【伊六三】

伊六三

【伊六三】

伊六三

【伊六三】

伊六三

【伊六三】

伊六三

【伊六三】

伊六三

【伊六三】

伊六三

【伊六三】

伊六三

【伊六三】

伊六三

【伊六三】

伊六三

【伊六三】

伊六三

【伊六三】

伊六三

【伊六三】

伊六三

【伊六三】

伊六三

【伊六三】

伊六三

【伊六三】

伊六三

【伊六三】

伊六三

【伊六三】

伊六三

【伊六三】

伊六三

【伊六三】

伊六三

0847(限 内 部)

海軍公報

(部内限)第三千三百二十二號

昭和十四年九月二十七日(水)

海軍大臣官房

○令 達

官房第一七五四號ノ一五

提 要

昭和十四年度歳出科目中左ノ通追加ス

昭和十四年九月二十七日

海 軍 大 臣

臨 時 部

款 項 目 節 解 疏

(水陸) (軍港) (横須賀軍港)

初度調辦費

ソ ス

○ 辭 令

海軍技術會議議員海軍中佐 丸 安 金 兎

海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス

海軍航空本部技術會議議員ヲ命ス (九月十六日海軍省)

○ 雜 款

○司令潜水艦變更

第六潜水隊司令ハ九月十八日司令潜水艦ヲ呂號第五十八潜水艦ヨリ呂號第五十七潜水艦ニ變更セリ

○特設運送船金龍丸行動豫定

地 名 着

十月

十月

發

佐 世 保	長 崎	西 崎	吳 崎	鎮 海	佐 保	西 崎	舞 鶴	吳 戶	神 戶	横 須 賀	吳 賀
三十日	二十八日	二十六日	二十三日	十九日	十七日	十五日	十二日	九日	八日	四日	一日
十一月一日	三十一日	二十八日	二十五日	二十二日	十九日	十七日	十四日	十一日	九日	七日	三日

海軍公報(部内限)第三千三百二十二號 昭和十四年九月二十七日

一一一七

0848

海軍公報（部内限）第三千三百二十二號

昭和十四年九月二十七日

一一一八

○郵便物發送先

軍艦夕張宛
十月 七日迄ニ到達見込ノモノハ
其ノ後ハ
大 横須賀

特務艦大泊宛

十月 二日迄ニ到達見込ノモノハ
其ノ後ハ
大 大湊泊

○本日普通公報發行セズ

○艦船所在

指 ▲印 ▲ハ ▲ホ ▲フ
定 タ 製 セ ズ

○九月二十七日午前十時調

【横須賀】

春日▲神威▲三隈、木曾、足柄、高雄▲
五十鈴、陸奥、山城、▽磐手、八雲、長鯨、
鈴谷、迅鯨、駒橋

島風▲灘風▲▽朝雲、夏雲▲峯雲▲

山雲、▽曉、狹霧▲澤風

伊一二三▲

富士▲膠州、洲崎▲鳴戸

(高崎)▲(翔鶴)▲(伊一七)▲

【長浦】▽沖島

▽春風、旗風、沙風、▽響、電、雷、帆風、

野風

呂五五、呂五六、呂五四、呂五八、

伊六、伊一二四

知床

【石川島】▽沼風

【横濱】(香取)▲(鹿島)▲

【浦賀】北上▲

漣▲

(不知火)▲(早潮)▲

【館山】愛宕

【大湊】葵▲

【國館】▽菊▲萩▲

【吳】

矢矧、淺間、淀、比叡▲神通▲日向▲熊野▲
鳳翔、最上、嚴島▲白鷹、加古、古鷹、
夕顔、吳竹、若竹、早苗、薄、藤、葛、刈萱、
敷波、磯波▲▽徹、霞

呂五一、呂五三、呂二六▲呂二七▲

呂二八▲伊五一、伊六七、▽伊一二三、

▽伊七〇、伊六九、▽伊六二、伊六四、

伊六一、▽伊一、伊二、伊三

雁

攝津▲明石▲室戸

(伊九)▲(伊一五)▲(伊一六)▲

【大阪】

天龍▲

▽彌生▲卯月▲如月▲夕月

(黒潮)▲(夏潮)▲

【神戸】

伊六八▲▽伊五七▲伊五六▲伊五八▲

(初風)▲(伊二〇)▲(伊二二)▲(伊一九)▲

【相生】

神風、波風▲朝顔▲芙蓉▲

(初鷹)▲

【玉】

呂六二▲

水無月▲皐月▲▽文月▲

【因ノ島】

今治▲

【江田内】

平戸▲

【安下庄】

伊一二一

【宿毛】

▽長門、伊勢、扶桑、▽霧島、金剛、▽阿武隈、
由良、鬼怒、▽川内、▽大鯨、▽赤城

海軍公報(部内限)第三千三百二十二號

昭和十四年九月二十七日

一一一九

【登後水道】

矢風

【別府】

△蒼龍、龍驤
△東雲、叢雲、薄雲

【佐伯】

△鳥海、摩耶、△利根、筑摩、△那珂、△劍崎
△龍、潮、曙、△天霧、朝霧、夕霧、△初雪、
白雪、吹雪

【舞鶴】

△吾妻、多摩
△白雲

【佐世保】

△陽炎、△（親潮）
△常磐、那智、△青葉、衣笠、△加賀、能登呂、
龍田、千歲、榛名、△飛龍、名取、
梨、竹、樺、桃、柳、檜、重、夢、蓬、菱、
△草、△柿、△榆、△長月、△大潮、荒潮、
△朝潮、△滿潮、△菊月、△三月月、△望月、
△呂三〇、△呂三一、△呂三二、△呂六〇、
△呂六一、△呂六六、△呂六五、△呂六七、

【長崎】

羽黒

【雄基】

浦波

【作業地】

△出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、
熱海、二見、伏見、△瑞穂、球磨、△妙高、
△長良、嵯峨、千代田、勝力、夕張、△八重山、
栗、梅、蓮、△夕風、朝風、△松風、朝風、
△白露、有明、夕暮、時雨、△秋風、羽風、
△太刀風、夕風、△綾波、峯風、沖風、
伊六三

△隼、鵜、鴻、鵠、鷺、鳩、雉

△掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、
△掃一五、掃二三、掃一四、掃一六、
△掃一七、掃二八、△掃一〇、掃八、掃九、
朝日、大泊

【航海中】

石廊（十五日吳發—羅府—）

襟裳（二十日「オハ」發—徳山—）

尻矢（二十二日「オハ」發—徳山—）

△呂五七、△呂五九（二十七日長浦發—浦賀水道—）

(限 内 部)

0851

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十四年九月二十七日(水)

海軍大臣官房

○ 令 達

官房第一五九五號ノ五

提 蒙

昭和十三年度新造雜役船ノ公稱番號、船種、所屬等ヲ左ノ通定ム
昭和十四年九月二十六日

海 軍 大 臣

公稱番號	船 種	所 屬	定 數 別	製 造 訓 令 番 號	竣 工、納 入 豫 定 期 日
第一一八一號	曳 (百五十噸船)	佐世保海軍建築部	臨時附屬	昭和十三年官房第四九一八號 佐世保鎮守府司令長官ニ訓令	昭和十四年十二月末日
第三七七五號	重油 (三百噸船)	橫須賀海軍軍需部	同	昭和十三年官房第六三九一號 橫須賀鎮守府司令長官ニ訓令	昭和十五年三月末日
第三七七六號	同 (同)	同	同	同	同
第三七七七號	同 (同)	吳海軍軍需部	同	昭和十三年官房第六三九〇號 吳鎮守府司令長官ニ訓令	昭和十四年十一月初旬
第三七八號	同 (同)	同	同	同	昭和十五年三月末日
第三七七九號	同 (五十噸船)	大湊要港部 (占守用)	同	官房第三〇號 大湊要港部司令官ニ訓令	同
第三七八〇號	飛行機運搬船 (百噸)	橫須賀海軍軍需部	同	大湊製鐵會社 橫須賀工廠	昭和十四年九月三十日

海軍公報 (部内限) 號外

海軍公報

(部内限)第三千三百二十三號

昭和十四年九月二十八日(木)

海軍大臣官房

○ 辭 令

軍令部出仕海軍少佐 小柴 直貞

第三部第六課勤務ヲ命ス(九月二十五日軍令部)

海軍技手 木村 信雄

在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(九月五日海軍航空本部)

○ 雜 款

○將旗復歸

第四根據地隊司令官ハ九月二十六日將旗ヲ第七號掃海艇ヨリ海口司令部ニ復歸セリ

○司令驅逐艦一時變更

第十八驅逐隊司令ハ九月二十七日司令驅逐艦ヲ一時廢ヨリ霞ニ變更セリ

○郵便物發送先

第十二潜水隊司令宛

十月 五 日迄ニ到達見込ノモノハ 吳
其ノ後ハ 神戸市兵庫區東出町
海軍監督官事務所

伊號第六十八潜水艦宛

從前通

同

右

伊號第六十九、第七十潜水艦宛

從前通

吳

○事務所設置

鹿島艦裝具事務所ヲ横濱市中區綠町三丁目四番地ノ二三菱重工業株式會社横濱船渠内ニ設置シ九月二十五日事務ヲ開始セリ

海軍公報(部内限)第三千三百二十三號

昭和十四年九月二十八日

一一二

○ 艦船所在

指印ハハハ
定ヲ要セズ

○九月二十八日午前十時調

【横須賀】

春日▲、神威▲、三隈、木曾、足柄、高雄▲、

五十鈴、陸奥、山城、▽磐手、八雲、

鈴谷、迅鯨、駒橋

島風▲、灘風▲、▽朝雲、夏雲▲、峯雲▲、

山雲、▽曉、狹霧▲、澤風

伊一二三▲

富士▲、膠州、洲崎▲、鳴戸

(高崎)▲、(翔鶴)▲、(伊一七)▲

【長浦】△沖島

▽春風、旗風、沙風、▽響、電、雷、帆風、

野風

呂五五、呂五六、呂五四、伊六、伊一二四、

▽呂五七、呂五九、呂五八

知床

【石川島】▽沼風

【横濱】(香取)▲、(鹿島)▲

【浦賀】北上▲

漣▲

(不知火)▲、(早潮)▲

【館山】愛宕

【大湊】葵▲、太刀風

【函館】▽菊▲、萩▲

【吳】

矢矧、淺間、淀、比叡▲、神通▲、日向▲、熊野▲、

鳳翔、最上、嚴島▲、白鷹、加古、古鷹、

夕顔、吳竹、若竹、早苗、薄、藤、葛、刈萱、

敷波、磯波▲、霞

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、

呂二八▲、伊五一、伊六七▲、▽伊一二三、

伊一二一、▽伊七〇、伊六九、▽伊六二、

伊六四、伊六一、▽伊一、伊二、伊三

雁 攝津▲、明石▲、室戸

(伊九)▲、(伊一五)▲、(伊一六)▲

【靑島】▽霞

【大阪】天龍▲

▽彌生▲、卯月▲、如月▲、夕月

【神戸】(黒潮)▲、(夏潮)▲

伊六八▲、▽伊五七▲、伊五六▲、伊五八▲

(初風)▲、(伊二〇)▲、(伊二二)▲、(伊一九)▲

【相生】(初鷹)▲

神風、波風▲、朝顔▲、芙蓉▲

【玉】呂六二▲

【因ノ島】水無月▲、阜月▲、▽文月▲

【宮島】大井

【江田内】平戸▲

【徳山】襟裳

【宿毛】▽長門、伊勢、扶桑、▽霧島、金剛、▽阿武隈、

海軍公報(部内限) 第三千三百二十三號

昭和十四年九月二十八日

一一三三

由良、鬼怒、川内、大鯨、赤城

村雨、春雨、夕立、五月雨、若葉、初春、

子日、初霜、江風、涼風、山風、海風、

追風、疾風

伊五、伊四、伊五五、伊五三、伊五四、

伊六〇、伊五九、伊七

問宮、隱戸

【豊後水道】
矢風

【別府】
蒼龍、龍驤

東雲、叢雲、薄雲

【佐伯】
鳥海、摩耶、利根、筑摩、那珂、劍埼、

龍、潮、曙、天霧、朝霧、夕霧、初雪、

白雪、吹雪

伊七五、伊七四、伊七三、伊七二、

伊七一、伊三四、伊三三、伊八、

【舞鶴】
吾妻、多摩

白雲

伊五二

【陽炎】(親潮)

【佐世保】
常磐、那智、青葉、衣笠、加賀、能登呂、

龍田、千歳、榛名、飛龍、名取

梨、竹、樫、桃、柳、檜、莖、菱、菱、

朝潮、滿潮、菊月、三月月、睦月、望月、

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、

呂六一、呂六六、呂六五、呂六七、

伊六六、伊六五、呂六四

真鶴、千鳥、友鶴、初雁

敷島、鶴見、佐多、早瀬、野島

(雪風)、(磯風)、(伊一八)

羽黒

浦波

【雄基】
浦波

【作業地】
出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、

熱海、二見、伏見、瑞穂、球磨、妙高、

長良、嵯峨、千代田、勝力、夕張、八重山、

栗、梅、蓮、夕風、朝風、松風、朝風、

白露、有明、夕暮、時雨、秋風、羽風、

夕風、綾波、峯風、沖風

伊六三

隼、鵜、鴻、鵠、鷺、鳩、雉

掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、

掃一五、掃一三、掃一四、掃一六、

掃一七、掃一八、掃一〇、掃八、掃九、

掃七

朝日、大泊

【航海中】
石廊(十五日吳發—羅府)

尻矢(二十二日「オ」發—徳山)

掃一、掃二(二十七日佐世保發—長崎)

(限 内 部) 0855

海軍公報

(部内限)第三千三百二十四號

昭和十四年九月二十九日(金)

海軍大臣官房

○ 辭 令

海軍少將	二階堂行健
同	鍋島茂明
海軍主計少將	片岡覺太郎
海軍造兵少將	神足勝孝
海軍大佐	酒卷宗孝
同	竹内牧人
同	延谷保司
同	黒田麗
海軍中佐	宮坂市郎
同	藤松達次
同	鶴尾定雄
同	飯田麒十郎
海軍機關大佐	梅田正澄
同	嘉納吉彦
同	杉本修
同	並河孝

(各通)

海軍機關中佐	川岡三十郎
同	増田仁平
同	森淺三
同	在原耕平
同	四方好治
同	古藤外太郎
同	河村松次郎
同	種子島時休
海軍機關少佐	吉田正臣
海軍軍醫大佐	石黒芳雄
同	矢野義雄
海軍軍醫中佐	椎名三郎
同	田村明
同	伊藤實
同	武井英
同	古谷倍太郎
同	渡邊格
海軍軍醫少佐	榎本仲二

海軍公報(部内限)第三千三百二十四號 昭和十四年九月二十九日

一二二五

昭和十四年九月二十九日

二二六

昭和十四年海軍武官任川臨時委員ヲ命ス(三十八日)海軍省

海軍中佐 高尾 儀六
財團法人海仁會設立委員會委員ヲ命ス

海軍生徒採用試験常置委員ヲ命ス(以上三十九日同)

海軍中佐 富村 重雄

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

○艦船所在

指印ハハカ
定ヲ要セズ

○九月二十九日午前十時調

【横須賀】

春日▲神威▲三隈▲木曾、足柄、高雄、
五十鈴、陸奥、山城、▽磐手、八雲、
鈴谷、迅鯨、駒橋

島風▲灘風▲▽朝雲、夏雲▲峯雲▲

山雲、▽曉、狹霧▲澤風

伊一二三▲

富士▲膠州、洲崎▲鳴戸

(高崎)▲(翔鶴)▲(伊一七)▲

【長浦】△沖島

▽春風、旗風、沙風、▽響、電、雷、帆風、

野風

呂五五、呂五六、呂五四、伊六、伊一二四、

▽呂五七、呂五九、呂五八

知床

【石川島】▽沼風

【横濱】(香取)▲(鹿島)▲

【浦賀】北上▲

漣▲

(不知火)▲(早潮)▲

【館山】愛宕

【大湊】葵▲、太刀風、羽風

【函館】▽菊▲、萩▲

【吳】

矢矧、淺間、淀、比叡▲神通▲日向▲熊野▲
鳳翔、最上、嚴島▲白鷹、加古、古鷹、
大井夕顔、吳竹、若竹、早苗、薄、藤、葛、刈萱、
敷波、磯波▲霞、矢風

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、伊五一、伊六七▲、▽伊一二三、

伊一二一、▽伊七〇、伊六九、▽伊六二、

伊六四、伊六一、▽伊一、伊二、伊三

雁

攝津▲、明石▲、室戸

(伊九)▲(伊一五)▲(伊一六)▲

【大坂】▽霞

【神戸】

▽天龍▲

▽彌生▲卯月▲、如月▲、夕月

(黒潮)▲(夏潮)▲

伊六八▲、▽伊五七▲、伊五六▲、伊五八▲

(初風)▲(伊二〇)▲(伊二二)▲(伊一九)▲

(伊一〇)▲

【相生】神風、波風▲、朝顔▲、芙蓉▲

(初鷹)▲

【玉】呂六二▲

【因ノ島】水無月▲、阜月▲、▽文月▲

【江田内】平戸▲

【宿毛】▽長門、伊勢、扶桑、▽霧島、金剛、▽阿武隈、

海軍公報(部内限)第三千三百二十四號

昭和十四年九月二十九日

一一二七

由良、鬼怒、川内、大鯨、赤城

村雨、春雨、夕立、五月雨、若葉、初春、

子日、初霜、江風、涼風、山風、海風、

追風、疾風

伊五、伊四、伊五五、伊五三、伊五四、

伊六〇、伊五九、伊七

間宮、隱戸

【別府】蒼龍、龍驤

東雲、叢雲、薙雲

【佐伯】島海、摩耶、利根、筑摩、那珂、劍埼

臘、潮、曙、天霧、朝霧、夕霧、初雪、

白雪、吹雪

伊七五、伊七四、伊七三、伊七二、

伊七一、伊三四、伊三三、伊八、

【舞鶴】吾妻、多摩

白雲

伊五二

【佐世保】（陽炎）（親潮）

常磐、那智、青葉、衣笠、加賀、能登呂、

龍田、千歲、榛名、飛龍、名取

梨、竹、樞、桃、柳、檜、蓮、蓬、菱、

朝潮、滿潮、菊月、三日月、望月、

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、

呂六一、呂六六、呂六五、呂六七、

伊六六、伊六五、呂六四

真鶴、千鳥、友鶴、初雁

敷島、鶴見、佐多、早瀬

掃一、掃二

（雪風）（磯風）（伊一八）

羽黑

浦波

【作業地】出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、

熱海、二見、伏見、瑞穂、球磨、妙高、

長良、嵯峨、千代田、勝力、夕張、八重山、

長鯨

栗、梅、蓮、夕風、朝風、松風、朝風、

白露、有明、夕暮、時雨、秋風、夕風、

綾波、峯風、沖風

伊六三

伊集、鴨、鴻、鵠、鷺、鳩、雉

掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、

掃一五、掃二三、掃一四、掃一六、

掃一七、掃一八、掃一〇、掃八、掃九、

掃七

朝日、大泊、野島

【航海中】

石廊（十五日吳發—羅府）

尻矢（二十二日「オハ」發—德山）

呂六三、呂六八（二十八日佐伯發—佐世保）

襟裳（二十九日德山發—吳）

海軍公報

(部内限)第三千三百二十五號

海軍大臣官房

昭和十四年九月三十日(土)

○令 達

官房第五〇五一號ノ二

昭和十四年九月三十日

海 軍 大 臣

第五艦隊機密第一四八號第五艦隊酒保部設置ノ件認許ス

(參照)

第五艦隊酒保部規程拔萃

第一條 第五艦隊所屬艦船部隊酒保所要物品ノ補給ヲ
圓滑ニスルト共ニ酒保員ノ公益慰安及娛樂ノ便宜ヲ

圖ル爲第五艦隊酒保部ヲ置ク

第二條 本部ハ前條ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

一 艦船部隊酒保所要物品ノ準備、供給及酒保ニ於
テ蒐集シタル不用品ノ處分

二 各酒保員ノ公益、慰安及娛樂費ノ支出

三 前各號ノ外委員長及委員ノ議決ニ依リ必要ト認
メタル事項

○通 牒

第三條 本部ノ事務所ヲ臺灣高雄州高雄市海軍主計科
士官事務所内ニ置ク

軍務二機密第八七五號

昭和十四年九月二十九日

内令提
要削除

海軍省軍務局長

各鎮守府參謀長殿
各要港部

運送艦船ニ家族便乗ノ件申進

首題ノ件昭和十三年軍務二機密第一〇六四號ニ依リ當
分ノ間之ヲ許可セラレザリシ處自今海上運輸規程所定
ノ通許可ノコトニ定メラレ候ニ付可然取計相度處

經豫第三號ノ二三六

昭和十四年九月二十九日

海軍省經理局長

關係各支出官、資金前渡官吏殿

海軍公報(部内限)第三千三百二十五號

昭和十四年九月三十日

一一二九

日本銀行代理店設置ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通大藏省理財局長ヨリ通牒之有候條了知相成度

（別紙）

藏理第六四五五號

昭和十四年九月十八日

大藏省理財局長 相田 岩 夫

海軍省經理局長 武井大助殿

國庫金並ニ政府有價證券ヲ取扱フ日本銀行代理店ヲ今般滿洲國東安省東安、黑河省孫吳及牡丹江省東寧並ニ中華民國廣東省汕頭ニ設置シ昭和十四年十月一日ヨリ之ヲ取扱ヲ爲サシムルコトニ相成候ニ付此段及通牒候也

追而本件ハ官報ニ告示ノ手續ヲ採ラザルニ付御含置相成度

○ 辭 令

海軍少佐 伊東 藤雄
旅順要港部ニ於ケル事務囑託ノ報酬トシテ貳百拾圓ヲ贈與ス

旅順要港部ニ於ケル事務囑託ヲ解ク（三品海軍省）

關東局土木主事 山本 徳明
旅順要港部ニ於ケル事務囑託ノ報酬トシテ貳百參拾五圓ヲ贈與ス

旅順要港部ニ於ケル事務囑託ヲ解ク（十品同）

海軍特務中尉 柿本 利平次
海軍省事務ヲ囑託ス（九品同）

軍令部ニ於ケル事務並ニ海軍通信學校ニ於ケル業務囑託

（各通）

同

松本 正人
村田 禮二
原 一郎

海軍通信學校ニ於ケル業務囑託ヲ解ク

海軍豫備中尉 田崎 涼

海軍省事務囑託ノ報酬トシテ八拾圓ヲ贈與ス

海軍豫備大尉 小方 望

海軍省事務ヲ囑託ス

（各通）

北海道廳技師 三戸 卓助
北海道廳部長 青柳 秀夫

帝室林野局技師 太宰 哲一郎
海軍航空本部ニ於ケル木材材料研究業務ヲ囑託シ報酬年額貳百圓ヲ贈與ス（以上九品同）

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○九月三十日午前十時調

【横須賀】

春日▲、神威▲、三隈▲、木曾、足柄、高雄▲

五十鈴、陸奥、山城、磐手、八雲、

鈴谷、迅鯨、駒橋、愛宕

島風▲、灘風▲、朝雲、夏雲▲、峯雲▲

山雲、戸曉、狹霧▲、澤風

伊一二三▲

富士▲、膠州、洲崎▲、鳴戸

(高崎)▲、(翔鶴)▲、(伊一七)▲

【長浦】△沖島

戸春風、旗風、汐風、戸響、電、雷、帆風、

野風

呂五五、呂五六、呂五四、伊六、伊一二四、

戸呂五七、呂五九、呂五八

知床

【石川島】戸沼風

【横濱】(香取)▲、(鹿島)▲

【浦賀】北上▲

漣▲

(不知火)▲、(早潮)▲

【大湊】葵▲、太刀風、羽風、戸秋風、夕風

【函館】戸菊▲、萩▲

【吳】

矢矧、淺間、淀、比叡▲、神通▲、日向▲、熊野▲、

鳳翔、最上、嚴島▲、白鷹、加古、古鷹、

大井

夕顔、吳竹、若竹、早苗、薄、藤、葛、敷波、

磯波▲、戸霞、散、矢風

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、伊五一、伊六七▲、戸伊一二二、

伊一二一、戸伊七〇、伊六九、戸伊六二、

伊六四、伊六一、戸伊一、伊二、伊三

雁

攝津▲、明石▲、室戸、襟裳

(伊九)▲、(伊一五)▲、(伊一六)▲

天龍▲

戸彌生▲、卯月▲、如月▲、夕月

【神戸】(黒潮)▲、(夏潮)▲

伊六八▲、戸伊五七▲、伊五六▲、伊五八▲

(初風)▲、(伊二〇)▲、(伊二二)▲、(伊一九)▲

(伊一〇)▲

【相生】神風、波風▲、朝顔▲、芙蓉▲

(初鷹)▲

【玉】呂六二▲

【因ノ島】水無月▲、卓月▲、戸文月▲

【江田内】平戸▲

【徳山】尻矢

【宿毛】戸長門、伊勢、扶桑、戸霧島、金剛、戸阿武隈、

海軍公報(部内限)第三千三百二十五號

昭和十四年九月三十日

一一三

由良、鬼怒、川内、大鯨、赤城

村雨、春雨、夕立、五月雨、若葉、初春、

子日、初霜、江風、涼風、山風、海風、

追風、疾風

伊五、伊四、伊五五、伊五三、伊五四、

伊六〇、伊五九、伊七

間宮、隱戸

伯 伯 鳥海、摩耶、利根、筑摩、那珂、劍埼、

蒼龍、龍驤

朧、潮、曙、天霧、朝霧、夕霧、初雪、

白雪、吹雪、東雲、叢雲、薄雲

伊七五、伊七四、伊七三、伊七二、

伊七一、伊三四、伊三三、伊八、

舞鶴 吾妻、多摩

白雲 伊五二

佐世保 (陽炎)、(親潮)

常磐、那智、青葉、衣笠、加賀、能登呂、

龍田、千歳、榛名、飛龍、名取

梨、竹、樵、桃、柳、檜、萬、菱、蓬、菱、

葦、柿、榆、長月、大潮、荒潮、

朝潮、滿潮、菊月、三月月、睦月、望月

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、

呂六一、呂六六、呂六五、呂六七、

伊六六、伊六五、呂六四、呂六三、

呂六八

真鶴、千鳥、友鶴、初雁

敷島、鶴見、佐多、早鞆

掃一、掃二

(雪風)、(磯風)、(伊一八)

羽黑

浦波

作樂地 出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、

熱海、二見、伏見、瑞穂、球磨、妙高、

長良、嵯峨、千代田、勝力、夕張、八重山、

長鯨

栗、梅、連、夕風、朝風、松風、朝風、

白露、有明、夕暮、時雨、綾波、峯風、

沖風

伊六三

伊集、鴨、鴻、鵠、鷺、鳩、雉

掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、

掃一五、掃一三、掃一四、掃一六、

掃一七、掃一八、掃一〇、掃八、掃九、

掃七

朝日、大泊、野島

航海中

石廊 (十五日吳發—羅府—)

刈萱 (二十九日吳發—相生—)